

SONY®

FM/AM コンパクトディスク プレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



CDX-C7100

**警告**

安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、
煙が出たら



- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

**警告**

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡やけがなど人身事故の原因となります。

**注意**

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電



指挟み

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

目次

△警告・△注意	4
---------------	---

▶ 準備

まず、本機をリセットする	7
SHIFTボタンについて	7
時計を合わせる	8
放送局を自動で登録する	9

▶ ここだけ読んでも使えます

CDを聞く	10
ラジオを聞く	17

▶ ラジオ

特定の放送局を登録する	19
放送局に名前をつける	20
放送局を名前で探す (リスト)	22

▶ その他の操作

ロータリーコマンドの操作	23
音や表示などの設定を変える	26
音質や音のバランスを調節する	28

付録

使用上のご注意	56
各部のなまえ	57
故障かな?	59
保証書とアフターサービス	62
主な仕様	63
索引	裏表紙

別売りの機器を接続すると

▶ CD/MD

チェンジャー内の CD/MDを聞く	29
繰り返し聞く (リピート)	31
曲順を変えて聞く (シャッフル)	32
CDに名前をつける (ディスクメモ)	33
聞きたい曲だけを選ぶ (バンク)	37
ディスクを名前で探す (リスト)	39

▶ DSP

サラウンド効果を選ぶ	40
サラウンド効果の反射音・ 残響音を調節する	41
CDごとにサラウンド効果を登録する (DSPカスタムファイル)	42
リスニングポジションを選ぶ	43
前後のスピーカーバランスを調節する	45
サブウーファーの音量を調節する	46
低音・高音の音量を調節する	47
前回と同じサラウンド効果で聞く	48
ラインアウトのレベルを選ぶ	48

▶ テレビ・ビデオ

テレビを見る	49
ビデオを見る	51
ラジオ局・テレビ局の一覧を見る	51
CD/MDの情報を見る	52

▶ CD/CD-ROM

音声を切り換える	53
----------------	----

▶ NAVI

ナビの音声を聞く	54
本機の音声とナビの音声を同時に聞く (ガイド)	55



火災



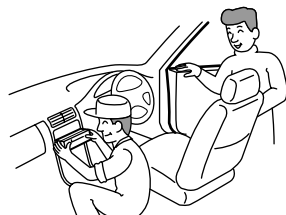
感電

下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の実装には専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。

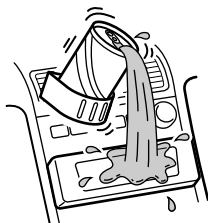


内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止

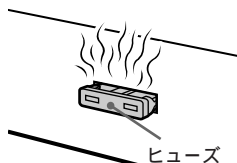


規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を越えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



禁止

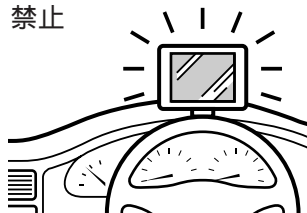


前方の視界を妨げる場所に、ディスプレイやモニターを取り付けない

前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となることがあります。



禁止



分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となることがあります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止



下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

ディスク挿入口に手を入れない

内部で手をはさまれ、けがの原因となることがあります。



禁止



はじめに

本機では、CDとラジオを聞くことができます。付属のロータリーコマンダーを使って手で簡単に操作することができます。

別売りの機器をつないだ場合も本機のボタンで操作できます。以下の機器が組み合わせられます。

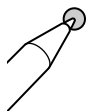
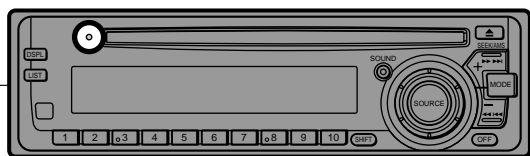
- CDチェンジャー、MD(ミニディスク)チェンジャー
カスタムファイル機能付きCDチェンジャーを接続するとすべてのCDでカスタムファイル機能が可能。
- テレビチューナー、ビデオ
- デジタルプリアンプ
- FM文字多重放送ディスプレイユニット

この取扱説明書では、本機の使いかたの他に、別売りのCD/MDチェンジャー、XDP-U50D、テレビ、ビデオを接続した場合の操作方法についても説明しています(29ページ～)。

TEL/NAVIミュート機能

本機は、電話使用時やナビゲーションの案内音声があるときに本機からのスピーカーの音量を自動的に下げます。ただし、ミュート出力コードの付いた携帯電話や自動車電話、カーナビゲーションシステムを接続した場合は、VOLダイヤルで音量を上げると解除されます。

まず、本機をリセットする



初めて使うときや、自動車のバッテリーを交換したときは、リセットボタンをボールペンの先などで押す。

ご注意

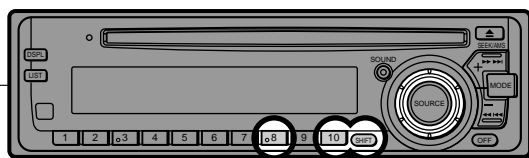
リセットボタンを押した後、10秒間はCDを入れないでください。10秒以内にCDを入れるとリセットされません。もし誤って入れたときはもう一度リセットし直してください。

SHIFTボタンについて

本機を操作するとき、SHIFTボタンを押すと、1～10のボタンは、上に機能表示が出て各機能の操作ボタンに変わります。

各設定等を行った後はSHIFTボタンを押してもとに戻します。

時計を合わせる

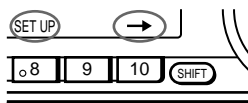


SET UP (セットアップ)

1 車のイグニッションキーをONにする。

SHIFT **2** SHIFTボタンを押して「SET UP」を表示する。

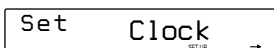
SHIFTボタンを押すと、操作できる数字ボタンの上に表示がでます。



SET UP

8

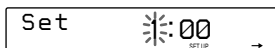
3 数字ボタン8 (SET UP) を押す。



→

10

① 数字ボタン10 (→) を押す。



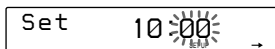
② ダイヤルで「時」を合わせる。(時計は12時間表示)



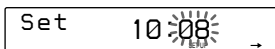
→

10

③ 数字ボタン10 (→) を押す。



④ ダイヤルで「分」を合わせる。



SHIFT

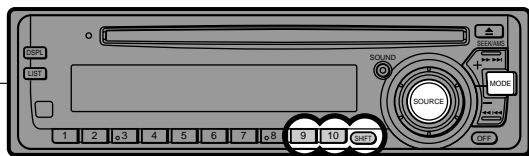
4 SHIFTボタンを押す。

時計がスタートします。

SHIFT

5 最後に、SHIFTボタンを押す。

放送局を自動で登録する



受信できる放送局を数字の1～10ボタンに自動的に登録します。FMまたはAMのバンドでそれぞれ10局ずつ登録できます。テレビ放送(1～3チャンネル)は、FM90.0MHzの次にあります。



1 SOURCEボタンを押してラジオに切り換える。



2 MODEボタンを押して登録したい放送局のバンドに切り換える。



3 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。

SHIFTボタンを押すと、操作できる数字ボタンの上に表示がでます。(「SET UP」, 「PLAY MODE」など)



4 数字ボタン9(PLAY MODE)を押して「B.T.M」表示にする。



5 数字ボタン10(→)を押す。

「B.T.M」(ベストチューニングメモリー)表示が点滅し、選んだバンドの中で受信状態の良い放送局が周波数の順に数字ボタンに登録されます。



6 最後に、SHIFTボタンを押す。

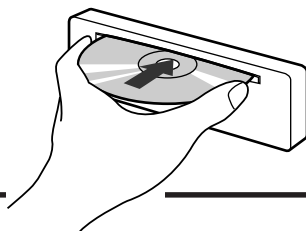
ご注意

- 放送局の数が少ない場合や電波が弱いときは、登録されないことがあります。
- 表示窓に登録番号が表示されていたときは、それ以降の数字ボタンに放送局が登録されます。

CDを聞く

CDを入れると再生が始まります

レーベル面を上にして入れます。



音量を調節する

CDが入っているときに
押して「CD」表示にす
ると再生が始まる

(^{ソース}SOURCEボタン)

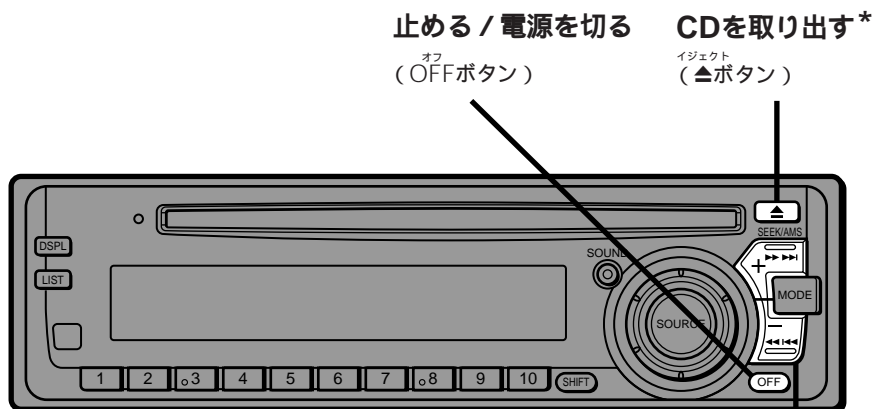


8cmCDについて

本機では8cmCDをアダプターを使わずに再生
できます。

ご注意

8cmCDにシングルアダプターを付けてディス
クを再生すると、故障の原因となりますので使
用しないでください。



聞きたいところを探す

シーク/エーエムエス
(SEEK/AMSボタン)



先に進める

前に戻す

押しつづけ、聞きたいところ
で離します。

曲の頭出しをする

シーク/エーエムエス
(SEEK/AMSボタン)



次の曲へ

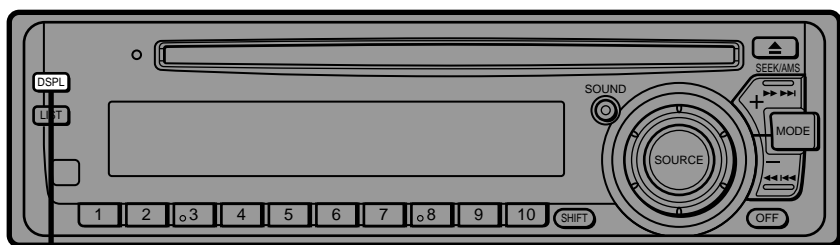
前の曲へ

とばしたい曲の数だけ押します。

* ▲ボタンを押した後、挿入口にCDが15秒以上差し込まれたままになっていると、ディスク保護のため自動的にディスクを引き込み停止状態になります(セルフストア機能)。

次のページへつづく

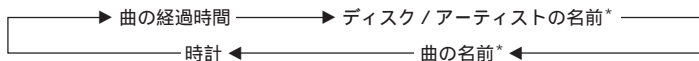
CDを聞く(つづき)



表示の見かた

DSPL

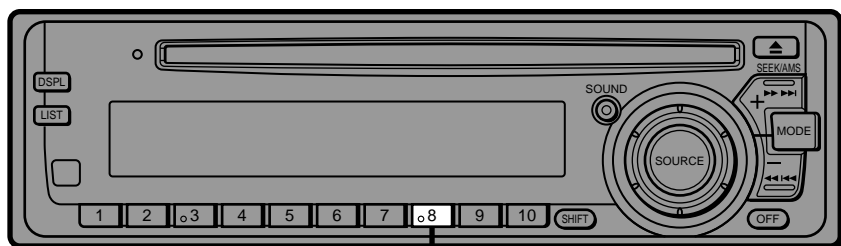
再生中にDSPLボタンを押して表示を切り換えます。



* CD-TEXTディスク以外のCDを再生したとき、または名前を登録していない場合は、「NO D.Name」または「NO T.Name」と表示されます。

CD-TEXTディスクに記録されているディスク名 / アーティスト名、曲名などはアルファベットと数字のみ表示できます。

長いディスク名、曲名をもう一度、見たいときはSHIFTボタンを押してから数字ボタン7(←)を押します。



SET UP (セットアップ)

自動的に長いディスク名をスクロールさせるには (CD-TEXTディスクのみ)

CD-TEXTディスク内に11文字以上の名前がついている場合、次のように名前を自動的にスクロールします。

- ディスクを入れる。
- SOURCEボタンを押して「CD」に切り換える。
- DSPLボタンを押して曲名またはディスク名に切り換える。
 - 1 SHIFTボタンを押して「SET UP」を表示させます。
 - 2 数字ボタン8 (SET UP) を押して「A.Scr」を表示させます。
 - 3 数字ボタン10 (→) を押して「A.Scr on」表示にします。
 - 4 最後に、SHIFTボタンを押します。

ふつうの表示に戻すには、手順3で「A.Scr off」表示にします。

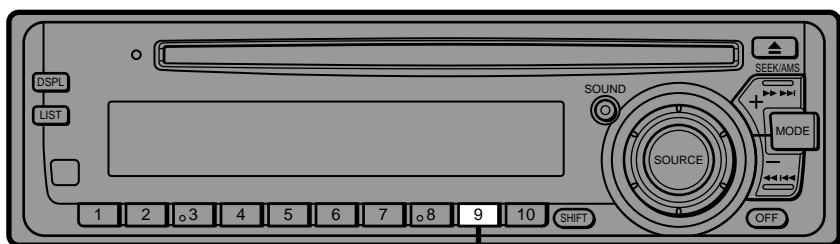
ご注意

極端に文字数が多く入っている場合、次のようなことがあります。

何文字かが表示されない。





自動的にスクロールされない。

CDを聞く(つづき)

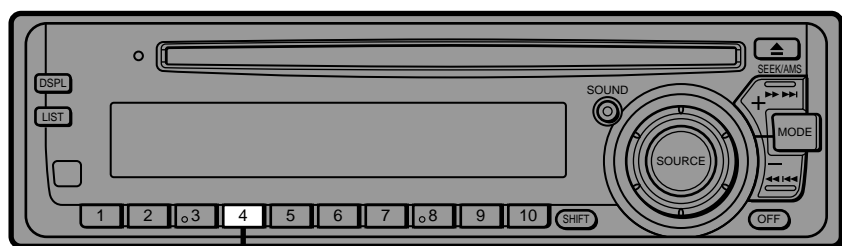


PLAY MODE(プレイモード)

曲の初めだけ聞く(イントロ演奏)

-  **1** SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。
-  **2** 数字ボタン9(PLAY MODE)を押して「Intro off」表示にする。
-  **3** 数字ボタン10(→)を押して「Intro on」を表示する。
-  **4** 最後に、SHIFTボタンを押す。

ふつうの再生に戻すには、手順3で「Intro off」表示にします。



リピート

同じ曲を繰り返し聞く(リピート演奏)

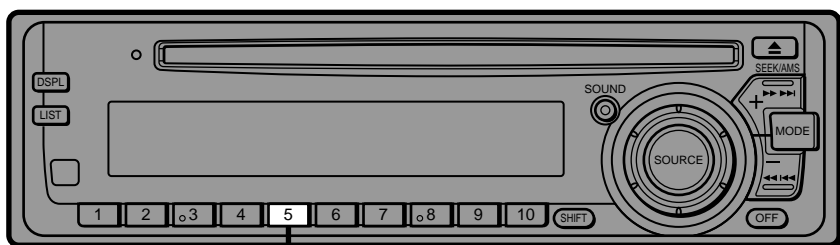
- 1** SHIFTボタンを押して「REP」を表示する。
- 2** 数字ボタン4(REP)を押して「Repeat 1」表示にする。
- 3** 最後に、SHIFTボタンを押す。

ふつうの再生に戻すには、手順2で「Repeat off」表示にします。

ご注意




本機のCD再生中は「Repeat 3」を選んでも「Repeat 2」と同じ働きになります。
(CDチェンジャー接続時)

CDを聞く(つづき)



シャッフル

曲順を変えて聞く(シャッフル演奏)

-  **1** SHIFTボタンを押して「SHUF」を表示する。
-  **2** 数字ボタン5 (SHUF) を押して「Shuf 1」表示にする。
-  **3** 最後に、SHIFTボタンを押す。

ふつうの再生に戻すには、手順2で「Shuf off」表示にします。

ご注意

本機のCD再生中は「Shuf 2」を選んでも「Shuf 1」と同じ働きになります。
(CDチェンジャー接続時)

ラジオを聞く

ここだけ読んでも
使えます

1 ラジオに切り換える

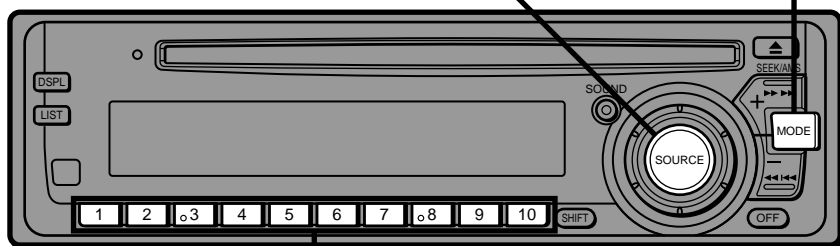


押してラジオを選びます。

2 聞きたいバンドに切り換える



押して「FM」または「AM」を選びます。



3 聞きたい放送局のボタンを押す (放送局を登録してあるとき)



登録のしかたについては、9ページ参照。

ご注意

SHIFTボタンが押されていて数字ボタンの上に「SET UP」, 「PLAY MODE」などの表示が出ているときは、数字ボタンで選択はできません。
この場合は、SHIFTボタンを押して表示を消してから操作してください。

ラジオを聞く(つづき)

表示の見かた (DSPLボタン)

DSPLボタンを押して表示を切り換えます。

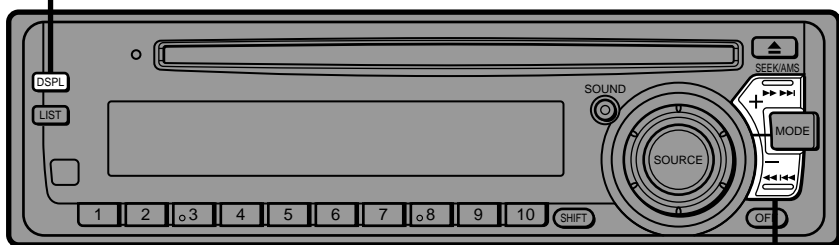


放送局の名前*

周波数

時計

* 名前を登録していない場合は、「NO Name」と表示され、周波数表示に換わります。



ステレオ放送が聞きにくいとき

ステレオ放送を受信すると「STEREO」と表示されます。放送が聞きにくいときは、音をモノラルにすると聞きやすくなります。

- 1 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。
- 2 数字ボタン9 (PLAY MODE) を押して「Mono off」を表示する。
- 3 数字ボタン10(→)を押して「Mono on」を表示する。
- 4 最後に、SHIFTボタンを押す。

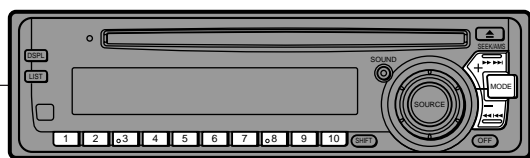
旅先などで、登録した放送局が受信しないとき(自動選局を使う)

SEEK/AMSボタンを短く押して離します。自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。聞きたい放送局が受信されるまでボタンを押します。



- 聞きたい放送局がわかっているときは、その局の周波数になるまでSEEK/AMSボタンを押しつけます。
- 自動選局がたびたび止まってしまうときは、SHIFTボタンを押してから数字ボタン9(PLAY MODE)を押して「Local off」表示にします。次に数字ボタン10(→)を押して「Local on」表示にします。「LCL」が表示され比較的電波の強い放送局だけを受信します。

特定の放送局を登録する



放送局を自動で登録(9ページ)したあと、空いている数字ボタンに他の放送局を追加登録できます。すでに登録してある数字ボタンも、他の放送局に登録し直すことができます。道路交通情報(AM1,620kHzまたはAM 1,629kHz)を登録しておく便利です。



1 SOURCEボタンを押してラジオに切り換える。



2 MODEボタンを押して登録したい放送局のバンド(FMまたはAM)に切り換える。



3 SEEK/AMSボタンを押して登録する放送局を受信する。

AM 1620



4 登録したい数字ボタンを「MEM」が表示されるまで押す。



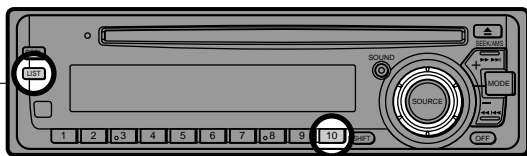
押した数字ボタンの番号が表示され、このボタンに選んだ放送局が登録されます。

AM 10 1620

ご注意

- すでに登録してある数字ボタンに同じバンドの他の放送局を登録すると、前の局は消えてしまいます。
- 数字ボタンの上に「SET UP」, 「PLAY MODE」などの表示が出ているときは、SHIFTボタンを押して表示を消してから操作してください。

放送局に名前をつける

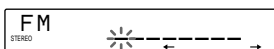


放送局に名前をつけると、受信中にその名前を表示できます。最大40の放送局に、8文字までの名前をつけられます。

1 名前をつけたい放送局を受信する。

LIST

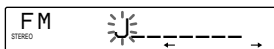
2 LISTボタンを2秒以上押す。



3 文字を入力する。

① ダイヤルを右に回して、文字を探す。

A→B→C→...Z→0→1→2→...9→+→-→*→/→\→→
→.→_→



ダイヤルを左に回すと、逆順に表示されます。

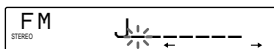
文字の間をあけたいときは、「 _ 」(下線)を入力します。

→

10

② 文字が見つかったら、数字ボタン10(→)を押す。

次の文字を入力できるようになります。



まちがえたときは、数字ボタン7(←)を押して修正したい文字を点滅させ、正しい文字を入力します。

③ 手順**①**と**②**を繰り返して、名前を入力する。

LIST

4 最後に、LISTボタンを2秒以上押す。



名前を表示するには



DSPLボタンを押して名前表示にする。

名前を登録していない場合は、「NO Name」と表示されます。

名前を消去するには

1 LISTボタンを押して表示が点滅するまで押します。

2 DSPLボタンを2秒以上押します。

3 ダイアルを回して消したい名前を表示させます。

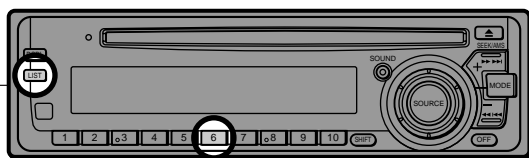
4 数字ボタン6(ENTER)を2秒以上押します。

名前が消えます。

5 LISTボタンを2秒以上押します。

すべての文字に「 _ 」(下線)を入力して名前を消すこともできます。

放送局を名前で探す



リスト

放送局に名前をつけておくと(20ページ)、名前を見ながら放送局を探すことができます。

LIST

1 LISTボタンを短く押す。



受信中の放送局の名前が表示

名前をつけていない場合は、周波数を表示します。

LIST

2 つづけてLISTボタンを押して聞きたい放送局の名前を表示する。

DSPLボタンを押したり、ボタンを押さないまま5秒間を過ぎると、もとの表示に戻ります。

ENTER

6

3 数字ボタン6(ENTER)を押して受信する。

ご注意

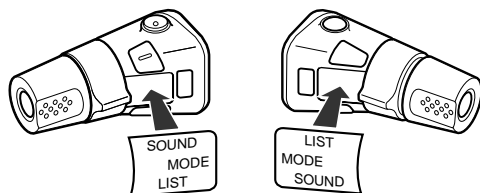
別売りのTVチューナーとTVモニターを接続すると、名前はTVモニターだけに表示されます。この場合、上記手順1～3の操作はできなくなり、LISTボタンはリスト表示のON/OFF操作になります。

ロータリーコマンドーの操作

ロータリーコマンドーのシールについて

本機にはロータリーコマンドーが付属しています。ロータリーコマンドーの取り付けについては別冊の「取り付けと接続」をご覧ください。

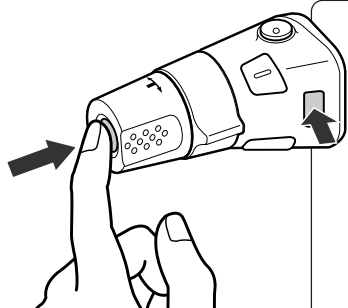
ロータリーコマンドーには、ボタン名称のシールが2枚付属されています。ロータリーコマンドーを取り付ける向きに合わせて、シールを貼ってください。



ロータリーコマンドーの操作

CD/MDチェンジャーやテレビ・ビデオは、各機器を接続しているときだけ操作できます。

押すと(^{ソース} SOURCEボタン、 ^{モード} MODEボタン)



SOURCEボタンを押すと

ソースがTUNER CD MD AUX Audio テレビと切り換わる

SOURCEボタンを押すと本機の電源が入ります。

MODEボタンを押すと

TUNERの時 : FM AM ...

CDの時 : CD1 CD2 ...

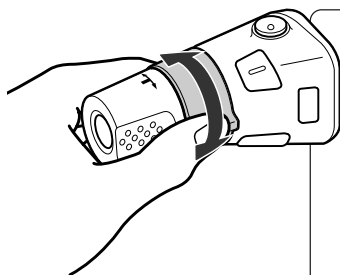
MDの時 : MD1 MD2 ...

テレビの時 : TV Video1 Video2 ...

と切り換わる

ロータリーコマンドーの操作 (つづき)

回すと (SEEK/AMSつまみ)
シーク/エーエムエス



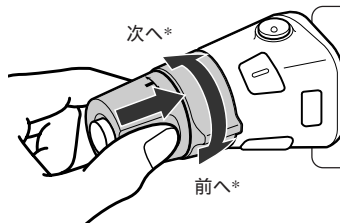
CD/MD... 短く回して離すと曲の頭出しをする

回しつづけると早く送られ、離すと再生に戻る

ラジオ / テレビ.....短く回して離すと自動的に放送局を受信する

回しつづけると特定の周波数を受信する

押しながら回すと (PRESET/DISCつまみ)
プリセット/ディスク



CD/MD... チェンジャー内のディスクを切り換える

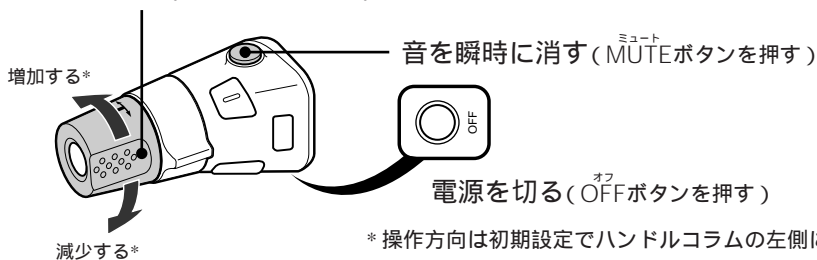
ラジオ... プリセットした放送局を順に受信する

テレビ... プリセットしたチャンネルを切り換える

* 操作方向は初期設定でハンドルコラムの左側に設置したときの使用を想定した方向になっています。

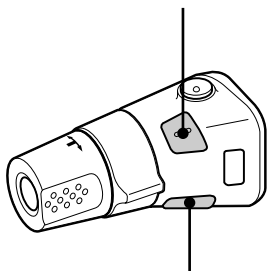
その他の操作

音量を調節する(ボリュームつまみを回す)



音量調節・音質選択する(サウンドボタンを押す)

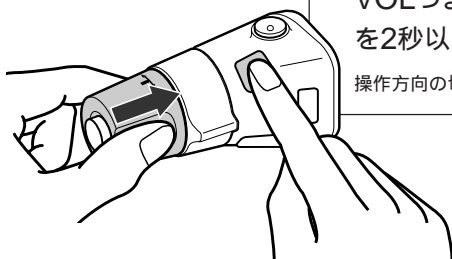
本体のボタンと同じ働きをします。



リストを表示する(リストボタンを押す)

本体のボタンと同じ働きをします。

つまみの操作方向を切り換える

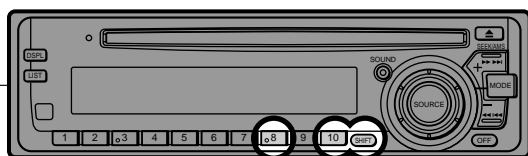


運転席の左右どちら側に取り付けるかで、つまみの操作方向を逆に設定できます。

VOLつまみを押しながら、SOUNDボタンを2秒以上押す

操作方向の切り換えは、本体でもできます(26ページ)。

音や表示などの設定を変える

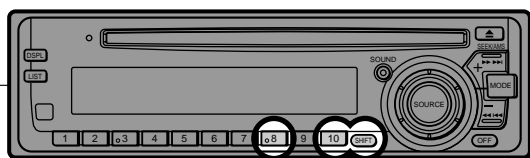


SET UP (セットアップ)

次の設定ができます。

- 「D.Info」 → 常に時計表示をさせる。
- 「Amber」, 「Green」
 - 操作ボタンの照明色を変える。
- 「Dimmer」 → 表示窓の減光を設定する。
 - 「Auto」 → 車の照明をONにすると表示が減光する。(車の照明電源に接続されている場合のみ。)
 - 「on」 → 車の照明に関係なく表示が減光する。
 - 「off」 → 車の照明に関係なく表示が減光しない。
- 「Contrast」 → 表示のコントラストを変える。
- 「Beep」 → 操作ボタンを押したときの「ピッ」という音を入・切する。
- 「RM」 → ローターリコマンダーのつまみの操作方向を切り換える。
 - 「norm」 → 初期設定の回転方向。
 - 「rev」 → 運転席の右側に取り付けたときの回転方向。
- 「Loud」 → 小音量でも聞きやすいように音のバランスを補正する。
- 「Guide」 → ナビの音声をフロントスピーカーから聞くことができます。グラフィックイコライザーやDSPを接続している場合は、フロントスピーカーとリヤスピーカーから聞くことができます。くわしくは55ページをご覧ください。
- 「A.Scrl」 → ディスクを入れかえたときや曲が変わったときに、11文字以上の曲名やディスク名を自動的にスクロールする。「off」ではスクロールしない。
- 「Disc MEMO/TEXT name」
 - CDの表示を設定する。
 - 「Disc MEMO」 → ディスクメモ機能でつけたディスク名を表示する。
 - 「TEXT name」 → CD-TEXTディスクの情報を表示する。
 - ただしCD-TEXTディスクの曲名は、どちらに切り換えても表示されません。

操作手順は次ページを参照。



SET UP (セットアップ)

SHIFT

1 SHIFTボタンを押して「SET UP」を表示する。

SET UP

8

2 数字ボタン8(SET UP)を押して調節したい項目に切り換える。

Clock → D.Info* → Amber/Green → Dimmer → Contrast →
Beep → RM → Loud* → Guide* → A.Scr1* → Disc MEMO/
TEXT name*

*チューナー受信中やCD/MD再生中に表示されます。

→

10

3 数字ボタン10(→)を押して調節したい設定にする。

(例:「on」または「off」)

「Contrast」では数字ボタン10(→)を押すとコントラストが強くなり、数字ボタン7(←)を押すと弱くなります。

SHIFT

4 最後に、SHIFTボタンを押す。

一時的に音量を小さくする(ミュート機能)

この機能はロータリーコマンダーあるいはワイヤレスリモートコマンダーのMUTEボタンで操作してください。

MUTEボタンを押す。

「Mute on」が点滅し、音量が小さくなります。

ふつうの音量に戻すには、もう一度MUTEボタンを押します。

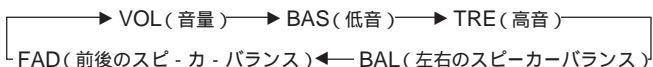
音質や音のバランスを調節する



BAS(低音) TRE(高音)はソースごとに調節できます。



1 SOUNDボタンを押して調節したい項目にする。



2 ダイヤルを回して調節する。

3秒以内にダイヤルを回してください。3秒を過ぎると音量調節(VOL)に戻ります。



BAS	TRE	BAL	FAD
弱まる	弱まる	左へ移動	後方向へ移動
強まる	強まる	右へ移動	前方向へ移動

CD/MPD

別売りのCDチェンジャーやMDチェンジャーを接続して、CDやMD(ミニディスク)を再生できます。また、CD-TEXT対応チェンジャーを接続するとCD-TEXTディスクの情報を見ることもできます。この章では、チェンジャー固有の機能について説明します。

チェンジャー内のCD/MDを聞く



1 SOURCEボタンを押して「CD」または「MD」表示にする。



2 MODEボタンを繰り返し押して聞きたいチェンジャーに切り換える。

CD1(本機)→CD2(CDチェンジャー1)→CD3(CDチェンジャー2)
全てのディスクを順に再生します。

チェンジャーを選んだあとは、10～16ページと同じ操作ができます。

ご注意

カタカナ表示に対応していないMDチェンジャーでは、カタカナのディスク名・曲名はローマ字に変換されて表示します。また、表示されたローマ字の前後に「^」記号が付加されます。

例 BESTヒット→BEST^HituT0^

聞きたいディスクを選ぶ



再生中に聞きたいディスクの番号と同じ数字ボタン
1～10を押す。

1



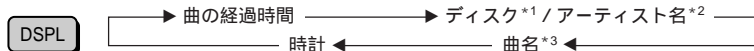
ご注意

数字ボタンの上に「SET UP」、「PLAY MODE」などの表示が出ているときは、SHIFTボタンを押して表示を消してから操作してください。

チェンジャー内のCD/MDを聞く(つづき)

表示窓の見かた

再生中にDSPLボタンを押して表示を切り換えます。



*1 ディスク名が記録されていない場合は、「NO D.Name」と表示されます。

*2 記録されている場合にのみ表示されます。

*3 曲名が記録されていない場合は、「NO T.Name」と表示されます。

ご注意

- CD-TEXTディスクに記録されているディスク名/アーティスト名、曲名などはアルファベットと数字のみ表示できます。
- MDに記録されているディスク名、曲名はアルファベット、数字およびカタカナ(カタカナ表示対応のMDチェンジャー接続時)のみ表示できます。
- 漢字、ひらがな入力されたMDを再生した場合は、「NO D.Name」または「NO T.Name」と表示されます。

MDに録音日時が記録されているときは、再生中にDSPLボタンを2秒以上押すと録音日時が約3秒間表示されます。

長いディスク名、曲名を再び見るにはSHIFTボタンを押してから数字ボタン7(←)を押します。

自動的に長いディスク名をスクロールさせるには(CD-TEXT、MD)

CD-TEXTディスクまたはMD内に11文字以上の名前が入っている場合、次のように自動的に名前をスクロールします。

- ディスクを入れる。
- SOURCEボタンを押して「CD」または「MD」に切り換える。
- DSPLボタンを押して曲名またはディスク名に切り換える。

1 SHIFTボタンを押して「SET UP」を表示します。

2 数字ボタン8(SET UP)を押して「A.Scr」表示にします。

3 数字ボタン10(→)を押して「A.Scr on」表示にします。

4 最後に、SHIFTボタンを押します。

ふつうの表示に戻すには、手順3で「A.Scr off」表示にします。

ご注意

ディスク内に極端に文字数が多く入っている場合、次のようなことがあります。

何文字かが表示されない。

自動的にスクロールされない。

繰り返し聞く

- 「Repeat 1」→ 再生中の曲を繰り返す。
- 「Repeat 2」→ 再生中のディスクを繰り返す。
- 「Repeat 3」→ チェンジャーを2台以上接続している場合は、再生中のチェンジャーの全ディスクを繰り返す。



1 再生中にSHIFTボタンを押して「REP」を表示する。



2 数字ボタン4 (REP) を押して聞きたい設定に切り換える。

→ Repeat 1 → Repeat 2 → Repeat 3 → Repeat off

リピート演奏が始まります。



3 最後に、SHIFTボタンを押す。

ふつうの再生に戻すには、手順2で「Repeat off」表示にします。

曲順を変えて聞く

- 「Shuf 1」→ 再生中のディスクの曲を順不同に再生する。
- 「Shuf 2」→ 再生中のチェンジャーの全ディスクの曲を順不同に再生する。
- 「Shuf 3」→ チェンジャーを2台以上接続している場合は、全ディスクの曲を順不同に再生する。

SHIFT

1 再生中にSHIFTボタンを押して「SHUF」を表示する。

SHUF

5

2 数字ボタン5(SHUF)を押して聞きたい設定に切り換える。



シャッフル演奏が始まります。

SHIFT

3 最後に、SHIFTボタンを押す。

ふつうの再生に戻すには、手順2で「Shuf off」表示にします。

ご注意

Shuf 2とShuf 3では、全ての曲を再生し終える前に、同じ曲が再生されることがあります。

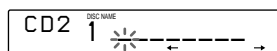
CDに名前をつける

カスタムファイル対応のCDチェンジャーの場合

CDに8文字までの名前をつけ、再生中に表示できます。つけた名前はチェンジャー本体に記憶され、CD110枚分を保存できます。カスタムファイルに対応しているチェンジャーを1台つないでいれば、対応していないチェンジャーに入っているCDにも名前をつけられます。

LIST

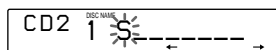
- 1 CDを再生し、LISTボタンを表示が点滅するまで押す。



- 2 文字を入力する。

- ① ダイヤルを右に回して、文字を探す。

A→B→C→...Z→0→1→2→...9→+→-→*→/→\→→
→.→_

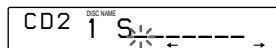


ダイヤルを左に回すと、逆順に表示されます。

文字をあけたいときは、「_」(下線)を入力します。

→
10

- ② 文字が見つかったら、数字ボタン10(→)を押す。



まちがえたときは、数字ボタン7(←)を押して修正したい文字を点滅させ、正しい文字を入力し直します。

- ③ 手順①と②を繰り返し、名前を入力する。

LIST

- 3 最後に、LISTボタンを2秒以上押す。

CDに名前をつける(つづき)

名前を表示するには

DSPL

再生中にDSPLボタンを押して、名前を表示する。

CD2 1 SCHUBERT

DSPLボタンを繰り返し押して、表示を切り換える。



*1 CD-TEXT機能付きCDチェンジャーを接続している場合に、ディスクメモ名またはCD-TEXT名のどちらかを表示します。

どちらを表示させるかは、次のように行ないます。

SHIFTボタンを押してから、数字ボタン10(→)を押して変更

優先表示の設定変更(35ページ)

またその時の表示は以下の通り：

再生中のディスク	優先表示	実際の表示
ディスクメモされた	Disc MEMO	ディスクメモ
CD-TEXTディスク	TEXT name	CD-TEXT情報
ディスクメモされたCD	Disc MEMO	ディスクメモ
	TEXT name	
ディスクメモされていない	Disc MEMO	CD-TEXT情報
CD-TEXTディスク	TEXT name	
ディスクメモされていない	Disc MEMO	NO D.Name
CD	TEXT name	

*2 CD-TEXT機能付きCDチェンジャーを接続し、CD-TEXTディスクを再生したときのみ表示されます。

CDに名前をつける(つづき)

名前を優先表示するには(CD-TEXTディスクのとき)

CD-TEXTディスクにディスクメモでつけた名前とCD-TEXTディスク内に登録してある名前のどちらかを優先的に表示させることができます。



1 CD-TEXTディスクを再生し、SHIFTボタンを押す。

SET UP



2 数字ボタン8(SET UP)を押して「Disc MEMO」または「TEXT name」を表示させる。



3 数字ボタン10(→)を押し、優先させて表示する設定に切り換える。



4 最後に、SHIFTボタンを押す。

優先させて表示する設定を換えるには、手順3で設定を切り換えます。

CDに名前をつける(つづき)

名前を消去するには

- 1 SOURCEボタンを押してCDを選びます。
- 2 MODEボタンを繰り返し押ししてCDチェンジャーを選びます。
- 3 LISTボタンを表示が点滅するまで押します。
- 4 DSPLボタンを2秒以上押します。
- 5 ダイヤルを回して消したい名前を表示させます。
- 6 数字ボタン6(ENTER)を2秒以上押します。

他に消したい名前があるときは、手順4、5を繰り返します。

- 7 最後に、LISTボタンを2秒以上押します。

すべての文字に「 _ 」(下線)を入力して名前を消すこともできます。

聞きたい曲だけを選ぶ

聞きたくない曲をとばして、お気に入りの曲だけを再生します。この機能を使えるのは、ディスクメモ機能(33ページ)で名前をつけたCDだけです。

聞きたくない曲をとばすように指定する



1 CDを再生し、SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。

P.MODE



2 数字ボタン9(PLAY MODE)を表示が点滅するまで押す。



ENTER



3 SEEK/AMSボタンを押してとばしたい曲の番号を表示して、数字ボタン6(ENTER)を押す。

表示が「Play」(再生する)から「Skip」(とばす)に変わります。



「Play」に戻すときは、もう1度数字ボタン6(ENTER)を押します。

P.MODE



4 手順3を繰り返して設定する。

5 数字ボタン9(PLAY MODE)を2秒以上押す。



6 最後に、SHIFTボタンを押す。

ご注意

- ・「Skip」を設定できるのは24曲目までです。
- ・「Skip」を全曲に設定して、ディスクを丸ごととばすことはできません。

聞きたい曲だけを選ぶ(つづき)

曲をとばしながら聞く

- 「Bank on」→ 「Play」と設定した曲だけ再生する。
- 「Bank inv」→ 「Skip」と設定した曲だけ再生する。
- 「Bank off」→ ふつうの再生。



1 CDを再生し、SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。



2 数字ボタン9(PLAY MODE)を短く押して「Bank」表示にする。



3 数字ボタン10(→)を押して再生のしかたを選ぶ。



4 最後に、SHIFTボタンを押す。

ふつうの再生に戻すには、手順3で「Bank off」表示にします。

ディスクを名前で探す

MDチェンジャーまたはカスタムファイル対応のCDチェンジャーの場合

名前を見ながら好きなディスクを選ぶことができます。CDについては、ディスクメモ機能(33ページ)で名前をつけてからこの機能を使います。

LIST

1 LISTボタンを短く押して名前を表示します。

LST 1  SCHUBERT

再生中のディスク名が点滅します

LIST

2 LISTボタンを繰り返し押して、聞きたいディスクの名前を表示する。

ボタンを押さないまま5秒を過ぎると、ふつうの表示に戻ります。

ENTER

6

3 数字ボタン6(ENTER)を押して再生する。

ご注意

- 「NO Disc」: ディスクが入っていない
- 「*****」: 名前が入っていない。
- 「?」: 本機がディスク情報を読み込んでいない。
- 別売りのTVチューナーとTVモニターを接続すると、名前はTVモニターだけに表示されます。この場合、上記手順1~3の操作はできなくなり、LISTボタンはリスト表示のON/OFF操作になります。

DSP

別売りのXDP-U50Dを接続して、プログラムソースにお好みの音場処理をすることができます。

別売りのXDP-U50DMK2を接続した場合の操作は、XDP-U50DMK2に付属の取扱説明書をご覧ください。

サラウンド効果を選ぶ

DSP(デジタルシグナルプロセッサ)は音声信号をデジタル処理し、お好みの音場に変えることができます。

DSPには10種類のサラウンド効果が用意されています。音楽の雰囲気に合わせてサラウンド効果を選ぶと、車内で臨場感あふれる音を楽しめます。

種類	効果
ホール HALL	コンサートホールの雰囲気
ジャズ JAZZ	ジャズクラブの雰囲気
ディスコ DISCO	堅い壁と床のディスコの雰囲気
シアター THEATER	映画館の雰囲気
パーク PARK	広々とした野外の雰囲気
ライブ LIVE	ライブハウスの雰囲気

種類	効果
オペラ OPERA	オペラハウスの雰囲気
チャーチ CHURCH	残響音の多い教会の雰囲気
スタジアム STADIUM	野外スタジアムでのコンサートの雰囲気
セラー CELLAR	残響音の多い地下室の雰囲気
デフィート DEFEAT	通常の状態

1 サラウンドを設定したいソース(CD、MD、ラジオなど)を再生する。



2 SOUNDボタンを押して「SUR」表示にする。

SUR -DEFEAT-



3 ダイアルを回して設定したいサラウンド効果を選ぶ。
設定したサラウンド効果に切り換わります。

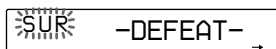
3秒後にふつうの表示に戻ります。

サウンド効果の反射音・残響音を調節する

- 1** サラウンドを設定したいソース (CD、MD、ラジオなど) を再生する。



- 2** SOUNDボタンを表示が点滅するまで押す。



- 3** ダイヤルを回して設定したいサラウンド効果を選ぶ。



- 4** 数字ボタン10(→)を押す。



- 5** ダイヤルを回して好みのレベル (0～100%) にする。
数字が大きくなるほどサラウンド効果は強くなります。



- 6** 最後に、SOUNDボタンを2秒以上押す。

CDごとにサウンド効果を登録する

ディスクごとにお好みのサウンド効果を登録できます。この機能が使えるのは、ディスクメモ機能(33ページ)でディスクに名前をつけている場合です。



1 CDを再生し、LISTボタンを2秒以上押す。



2 LISTボタンを押してサウンド効果表示にする。

CD1 -DEFEAT-



3 ダイアルを回して、好みのサウンド効果を選ぶ(一覧は40ページ)。



4 LISTボタンを2秒以上押して設定する。

登録したサウンド効果で再生するには

- 1** SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示します。
- 2** 数字ボタン9(PLAY MODE)を短く押して「D.File」表示にします。
- 3** 数字ボタン10(→)を押して「D.File on」表示にします。
5秒後に、ふつうの表示に戻ります。
ふつうの再生に戻るには、手順2で「D.File off」表示にします。

登録したサウンド効果を変えるには

登録の手順1~4を行います。

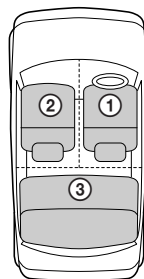
登録したサウンド効果を消すには

登録の設定の手順3で「DEFEAT」表示にします。

リスニングポジションを選ぶ

聞き手の位置(リスニングポジション)に合わせて、各スピーカーからの音の到達時間を調節し、快適で自然な音像定位を可能にします。座っている位置が音場の中心になるよう5つのリスニングポジションから選べます。

表示	種類	音場の中心
LP1	ALL	通常の状態 (①、②、③)
LP2	FRONT	前方(①、②)
LP3	FRONT-R	前方右(①)
LP4	FRONT-L	前方左(②)
LP5	REAR	後方(③)



1 SOUNDボタンを短く押して「LP1」表示にする。

LP1 ALL



2 ダイヤルを回してリスニングポジションを選ぶ(上の一覧を参照)。

回すたびに切り換わります。

3秒後ディスプレイは、ふつうの表示に戻ります。

リスニングポジションを選ぶ(つづき)

リスニングポジションを微調節する



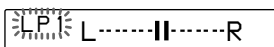
1 SOUNDボタンを2秒以上押す。



2 SOUNDボタンを押して調節するリスニングポジションを選ぶ。



3 数字ボタン10(→)を押す。



4 ダイヤルを回して音場の左右の中心を設定する。

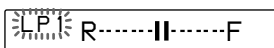


L(左)方向へ移動

R(右)方向へ移動



5 数字ボタン10(→)を押す。



6 ダイヤルを回して音場の前後の中心を設定する。



R(後ろ)方向へ移動

F(前)方向へ移動



7 最後に、SOUNDボタンを2秒以上押す。

前後のスピーカーバランスを調節する

本機ではサラウンド効果を選んでいるときとふつうの状態(DEFEAT)それぞれでスピーカーバランスを調節できます。

サラウンド効果を選ぶとリスニングポジションの効果を高めるために、リアスピーカーの音量が自動的に小さくなります。リアスピーカーの音量を上げたいときには「FAD」(フェーダー)を調節してください。

SOUND



1 SOUNDボタンを押して「FAD」表示にする。

2 ダイヤルを回してフェーダーを設定する。



R(後ろ)方向へ移動

F(前)方向へ移動

3秒後にふつうの表示に戻ります。

サブウーファーの音量を調節する

- 1 音量を設定したいソース（CD、MD、ラジオなど）を再生する。



- 2 SOUNDボタンを押して「SUB」表示にする。

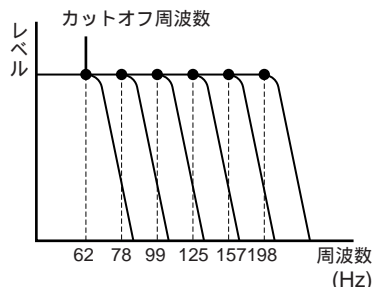


- 3 ダイヤルを回して音量を調節する。

3秒後にふつうの表示に戻ります。

サブウーファーのカットオフ周波数の調整

音の指向性（方向）は高い周波数成分によって支配されます。サブウーファーのカットオフ周波数を調整することにより、高い周波数成分をカットし、サブウーファーの設置場所を意識させない、歯切れの良い重低音を作り出すことができます。たとえば、62Hzを選ぶと、62Hz以上の音が除かれます。



- 1 カットオフ周波数を設定したいソース（CD、ラジオなど）を再生する。



- 2 SOUNDボタンを2秒以上押す。



- 3 SOUNDボタンを押して「SUB」表示にする。

SUB C.off125Hz



- 4 ダイヤルを回してカットオフ周波数を選ぶ。

62Hz → 78Hz → 99Hz → 125Hz* → 157Hz → 198Hz

* 初期設定値



- 5 最後に、SOUNDボタンを2秒以上押す。

低音・高音の音量を調節する

- 1 音量を設定したいソース(CD、MD、ラジオなど) を再生する。



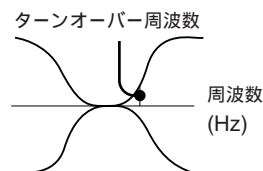
- 2 SOUNDボタンを押して「BAS」(低音) または「TRE」(高音) 表示にする。



- 3 ダイヤルを回して音量を調節する。
3秒後ふつうの表示に戻ります。

ターンオーバー周波数を選ぶ

低音または高音を変化させたときの変化開始点の周波数のことをターンオーバー周波数といいます。ターンオーバー周波数は低音と高音で4種類ずつ用意されています。



- 1 ターンオーバー周波数を設定したいソース(CD、MD、ラジオなど) を再生する。



- 2 SOUNDボタンを2秒以上押す。



- 3 SOUNDボタンを押して「BAS」(低音) または「TRE」(高音) 表示にする。

BAS (低音) 設定の表示

TRE (高音) 設定の表示

BAS 314 Hz

TRE 3.1 kHz



- 4 ダイヤルを回してカットオフ周波数を選ぶ。

BAS (低音) : 198Hz → 250Hz → 314 Hz* → 396Hz

TRE (高音) : 2.0kHz → 3.1kHz* → 4.0kHz → 5.0kHz

* : 初期設定値







- 5 最後に、SOUNDボタンを2秒以上押す。

前回と同じサウンド効果で聞く

最後に選んだサウンド効果をソースごとに記憶させることができます。途中でソースを切り換えたり電源を切ったりしても、前にそのソースを聞いたときと同じサウンド効果およびイコライザーカーブで聞くことができます。

ラインアウトのレベルを選ぶ

音が割れて聞きづらいときにラインアウトのレベルを切り換えます。

- 
1 SHIFTボタンを押して「SET UP」を表示する。
- 
2 数字ボタン8 (SET UP) を押して「L.OUT」表示にする。
- 
3 数字ボタン10 (→) を押して設定を選ぶ(−10dB または−16dB)。
- 
4 最後に、SHIFTボタンを押す。

テレビ・ビデオ

テレビやビデオはもちろん、チェンジャーに入っているCDやMDのタイトルをテレビ画面で見することもできます。

テレビを見るには別売りのチューナーとモニターを、ビデオを見るには別売りのビデオデッキとモニターを接続してください。

テレビを見る

TVチューナーユニットとTVモニターの取扱説明書に従って接続してください。あらかじめ、受信できる放送局を登録すると、簡単にチャンネルを選べます。

チャンネルを自動で登録する

最大10局まで登録できます。



1 SOURCEボタンを押してテレビに切り換える。



2 MODEボタンを押して「TV」表示にする。



3 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。



4 数字ボタン9(PLAY MODE)を押して「Auto mem」表示にする。



5 数字ボタン10(→)を押す。

受信できる放送局を探し始め、チャンネル順に数字ボタン1～10に割り当てます。



6 最後に、SHIFTボタンを押す。

その他の操作

チャンネルを選ぶには	数字ボタン1～10を押す
強制的にモノラル受信するには	「ステレオ放送が聞きにくいとき」(18ページ)と同じ手順を行う(ステレオ放送受信中)
副音声を聞くには	<ol style="list-style-type: none">1 SHIFTボタンを押す。2 数字ボタン9(PLAY MODE)を短く押して「MAIN」表示にする。3 数字ボタン10(→)を押して「SUB」表示にする。(2カ国語放送受信中)
特定のチャンネルを登録するには	「特定の放送局を登録する」(19ページ)と同じ手順を行う(手順1では、FM/AMの代わりにTVを選びます。)
テレビ局に名前をつけるには	「放送局に名前をつける」(20ページ)と同じ手順を行う(手順1では、FM/AMの代わりにTVを選びます。)

ビデオを見る

ビデオデッキとTVモニターの取扱説明書に従って接続してください。



1 SOURCEボタンを押してテレビを選ぶ。



2 MODEボタンを押して「Video」を選ぶ。

ビデオをTVモニターのVIDEO2端子に接続しているときは、「Video 2」表示に切り換えます。

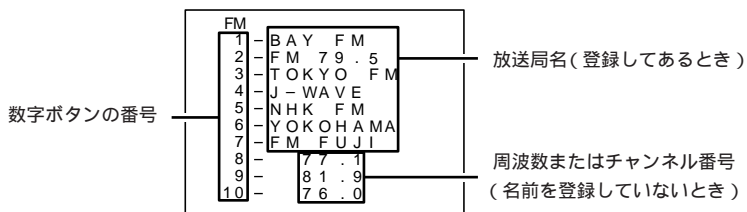
3 ビデオデッキのボタンでビデオを再生する。

ラジオ局・テレビ局の一覧を見る

プリセットしたテレビチャンネルやラジオ局をTV画面で一覧できます。

LIST

ラジオまたはテレビを受信中に、LISTボタンを短く押す。



現在受信中の放送局は赤紫色で表示されます。一覧が出ている間は、テレビ画面は映りません。

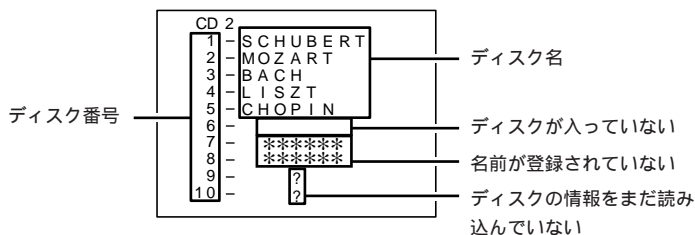
表示を消すには、ラジオ受信中はもう1度LISTボタンを押します。
テレビ受信中は、自動的にテレビ画面に戻ります。

CD/MDの情報を見る

ディスクの名前をTV画面で一覧できます。CDについては、ディスクメモ機能(33ページ)で名前をつけてからこの機能をお使いください。

LIST

再生中にLISTボタンを短く押す。



現在再生中のディスクはCDは赤紫色、MDは黄色で表示されます。

一覧が出ている間は、テレビ画面は映りません。

表示を消すには、もう1度LISTボタンを押します。

ご注意

- MDのカタカナのディスク名、曲名および一部の記号は表示されません。
- 名前はすべて大文字で表示されます。
- CD-TEXTの内容は表示されません。

CD/CD-ROM

音楽CDに加えてビデオCDやCD-Gをコントロールして画像を再生できます。別売りのCD/CD-ROMチェンジャーCDX-R61とバスシステム接続キットRC-130を本機に接続します。さらに画像を楽しむには、お手持ちのテレビモニターかナビシステムに接続してください。

音声を切り換える

音声多重ディスク(ビデオCDやCD-Gなどの一部)では、左右のチャンネルに別々の音声録音されています。このようなディスクでは左右どちらか、片方のチャンネルの音を選んで左右両方のスピーカーで聞けます(このような場合音声はモノラルになります)。

本機でCD/CD-ROMチェンジャーの音声を切り換えるにはDSPLボタンによる操作ではなく以下のようにしてください。



- 1** SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。

SHIFTボタンを押すと、操作できる数字ボタンの上に表示が出ます。(「SET UP」, 「PLAY MODE」など)

P.MODE



- 2** 数字ボタン9(PLAY MODE)を押して「Stereo」を表示する。



- 3** 数字ボタン10(→)を押して「L mono」または「R mono」を選ぶ。



- 4** 最後に、SHIFTボタンを押す。

NAVI

お手持ちのナビシステムやテレビの音声を本機に接続したスピーカーから聞くことができます。

ナビシステムやテレビの音声出力を本機に接続します。

ナビの音声を聞く



SOURCEボタンを押して「AUX」を選ぶ。

本機に接続したナビシステムやテレビからの音声が聞こえます。ただし、このとき本機の音は聞くことができません。ナビ音声と本機の音を同時に聞きたいときはGUIDE機能を使います(55ページ)。

本機の音声とナビの音声を同時に聞く

本機に接続したナビシステムの音声と本機の音声 (CD再生、ラジオ受信、CD/MDチェンジャーの再生) を同時に聞くことができます。ナビシステムからの音声案内が入ると、本機の音声が一時的に小音量になり、フロントスピーカーから同時に聞くことができます。グラフィックイコライザーやDSPを接続している場合は、フロントスピーカーとリヤスピーカーから聞くことができます。



1 SOURCEボタンで聞きたいソースを選ぶ。



2 SHIFTボタンを押して「SET UP」を表示する。



3 数字ボタン8 (SET UP) を押して「Guide」表示にする。



4 数字ボタン10 (→) を押して「Guide on」にする。



5 最後に、SHIFTボタンを押す。

ナビシステムから音声案内が入ると「GUIDE」が点滅します。
(このとき本機の音は小さくなり同時に聞くことができます。)

ナビの音声案内の音量は、本機のダイヤルで調節することができます (音声案内が出ているときで「GUIDE」点滅時のみ)。通常の音楽再生時と同じくらいの音量が適当です。このとき調節した音声案内の音量は、音楽再生時にも音量調節に合わせて変えることができます。ただし、音声案内の音量と音楽の音量のバランスは変わりません。

ご注意

- デジタルプリアンプ (別売り) を使ってシステムを接続する場合は、XDP-U50DMK2をお使いください。他のデジタルプリアンプXDP-88EQやXDP-600EQ、XDP-U50DではGUIDE機能が働きません。
- GUIDE機能はナビ音声入力端子に接続している場合のみ働きます。ナビ音声入力端子に何も接続していない場合は、必ず「off」にしてください。誤動作することがあります。
- SOURCEボタンで「AUX」を選んでいるときはGUIDE機能は働きません。また、ナビ音声出力中はSOUNDボタンは機能しません。

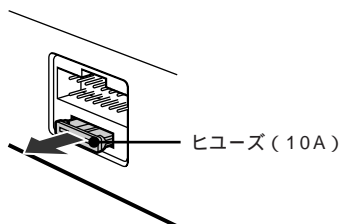
使用上のご注意

本体の表面を傷めないために

本体表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。



結露について

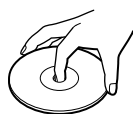
寒いときにヒーターをつけた直後など、CDプレーヤー内部の光学系のレンズに露(水滴)が生じることがあります。このような現象を結露といいます。

結露したままですと、レーザーによる読み取りができず、CDプレーヤーが動作しないことがあります。

周囲の状況にもよりますが、CDを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし、何時間経過しても正常に動作しない場合はアフターサービスにお申し付けください。

コンパクトディスクについて

- CDの汚れやゴミ、キズ、そりなどが、音とびなど誤動作の原因となることがあります。いつまでも美しい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。



記録面に触れないように持つ。



禁止

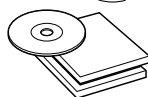


ディスクに紙などを貼らない。キズを付けない。

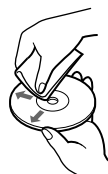
- 直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところには置かないでください。



禁止



- 再生する前に、再生面についたホコリやゴミ、指紋などを別売りのクリーニングクロスで矢印の方向へふき取ってください。

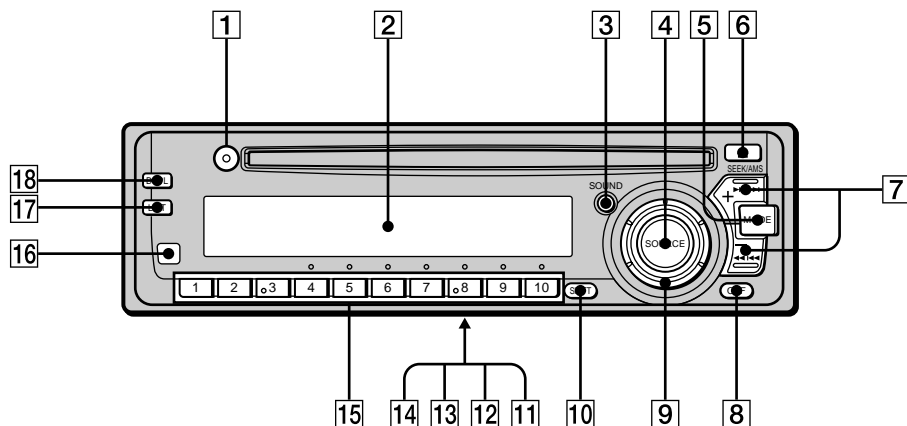


- ベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナーは使用しないでください。静電気防止剤なども、逆にCDを傷めることがありますので、使用しないでください。
- CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどののりがはみ出したり、はがしたあとのあるものはお使いにならないでください。そのまま本機で使用すると、取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

各部のなまえ

本体

内のページにくわしい説明があります。



1 リセットボタン 7

2 表示窓

3 サウンド
SOUND (音質調整) ボタン
28 40 41 43 44 45 46 47

4 ソース
SOURCE (ラジオ/CD/MD/テレビ切り換え) ボタン 9 10 17 19 29 36 49 51 54 55

5 モード
MODE (バンド、チェンジャー切り換え) ボタン 9 17 19 29 36 49 51

6 イジェクト
▲ (CD取り出し) ボタン 11

7 シーク/エーエムエス
SEEK/AMS (頭出し/ラジオ選局) ボタン 11 18 19 37

8 オフ
OFF (電源切り) ボタン 11

9 ボリューム/ バス/ トレブル/ バランス/ フェーダー
VOL/BAS/TRE/BAL/FADダイヤル
8 10 20 28 33 36 40 41 42 43 44 45 46 47

10 シフト
SHIFTボタン
PLAY MODE 9 14 18 37 38 42 49 50 53

REP 15 31

SET UP 8 13 27 30 35 48 55

SHUF 16 32

11 パワーセレクトスイッチ (底面)
くわしくは「取り付けと接続」をご覧ください。

12 音声出力/入力切り換えスイッチ (底面)
くわしくは「取り付けと接続」をご覧ください。

13 エフエム ダイバーシティ
FM DIVERSITYスイッチ (底面)
くわしくは「取り付けと接続」をご覧ください。

14 ナビ切り換えスイッチ (底面)
くわしくは「取り付けと接続」をご覧ください。

15 数字ボタン1～10

ラジオ 17 19

CD/MD 29

テレビ 49

16 リモコン受光部

17 リスト
LISTボタン

ラジオ 20 21 22

CD/MD 33 36 49

テレビ 51 52

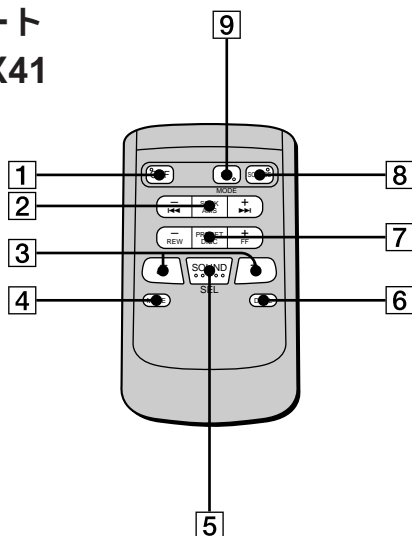
DSP 42

18 ディスプレイ
DSPL (表示切り換え) ボタン
12 18 21 30 34 36

次のページへつづく

各部のなまえ(つづき)

ワイヤレスリモート コマンダーRM-X41 (別売り)



1 オフ OFF (電源切り) ボタン

2 シーク/エーエムエス SEEK/AMS (頭出し/ラジオ選局) ボタン

3 + - ボタン

4 ミュート MUTE (音切り) ボタン

5 サウンド SOUND (音量調節/音質調整) ボタン

6 ディスプレイ DSPL (表示切り換え) ボタン

7 プリセット/ディスク PRESET/DISC ボタン

ラジオ... プリセットした局を選局
CD/MD... ディスク交換

8 ソース SOURCE (ラジオ/CD/MD/テレビ切り換え) ボタン

9 モード MODE (バンド、チェンジャー切り換え) ボタン

故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。
お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

	症状	原因・処置
共通	音が出ない	<ul style="list-style-type: none">音量を上げてください。ミュート機能を解除してください。スピーカー接続時：フェーダーの設定が正しくない。 2スピーカーで聞くときは、スピーカーバランスをフロント、あるいはリア側にしてください。イコライザー接続時：フェーダーがリア側になっている。 イコライザーなどを接続して使用するときは、本機のフェーダーはセンターに合わせてください。
	電源OFF時に時計表示にならない。	パワーセレクトスイッチが⑨になっている。 パワーセレクトスイッチを④にしてからリセットボタンを押してください。（アクセサリーポジションのある車のみ）
	ラウドネスの効果がわからない。	大音量になっている。音量を下げてください。 ラウドネス効果は小音量時のみかかります。また、別売りのXDP-U50DまたはXDP-66EQまたはXDP-600EQ接続時はラウドネス機能は動きません。
	メモリーの内容が消えてしまった。	<ul style="list-style-type: none">リセットボタンを押した。動作電源コードまたはバッテリーをはずした。電源コードが正しく接続されていない。
CD	ボタンを押したときの「ピッ」という音が出ない。	「ピッ」という音が出ない設定になっている（26ページ）。
	CDが入らない。 CDをいれてもすぐに出てくる。	<ul style="list-style-type: none">すでに別のCDが入っている。CDを誤った向きに入れようとしている。 レーベル面を上にして入れてください。
	音がとぶ。 音が途切れる。 音が割れる。	<ul style="list-style-type: none">CDが汚れている。ディスクをクリーニングしてください。ディスクが傷ついている。本機の取り付け角度が20°を越えている。
MD	音がとぶ。	チェンジャー本体がしっかりしていない所に取り付けてある。

故障かな?(つづき)

	症状	原因・処置
ラジオ アンテナ	受信できない、 雑音しか出ない	<ul style="list-style-type: none"> • カーアンテナとの接続を確認してください。 • オートアンテナが上がっていない。パワーアンテナコントロールリードをANT/REM(青)コードに接続してください。 • 周波数を確認してください。
	SEEKボタンを押しても聞 きたい局で止まらない	<ul style="list-style-type: none"> • 「LCL」と表示されている場合は電波の強い周波数しか受信しません。表示を消してください(18ページ)。 • 電波が弱くて自動選局できない。SEEK/AMSボタンを押して周波数を合わせてください。
DSP	音が出ない、 音が小さい	<p>XDP-U50D(別売り)を接続した場合は、リスニングポジションの設定の効果を高めるためにリアスピーカーの音量が自動的に小さくなります。</p> <p>DSP機能「入/切」それぞれの状態の前後スピーカーバランス設定をしてください。</p>
AUX/NAVI	音が出ない、 ノイズが発生する	<ul style="list-style-type: none"> • ナビシステムやテレビチューナーなどの接続を確認してください。 • ナビ切り換えスイッチの位置を確認してください。(別冊の「取り付けと接続」を参照。)

CD/MDのエラー表示

CDチェンジャーやMDチェンジャーが誤動作すると、アラーム音が鳴り、エラー表示が5秒間点滅します。

エラー表示	原因	処置
Blank *	MDに何も録音されていない。	他のMDに入れ換える。
Error *	ディスクが裏返しになっている。	ディスクを正しく入れ直す。
	CDが汚れている。	CDをクリーニングする。
	MDが何らかの原因で再生しない。	ほかのMDに入れ換える。
High temp	周囲の温度が50℃以上あり再生できない。	車内の温度が下がるのを待つ。
NO Disc	チェンジャーにディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
NG Discs	CD/MDが何らかの原因で再生しない。	ほかのCD/MDに入れ換える。
NO Mag	チェンジャーにディスクマガジンが入っていない。	ディスクマガジンにディスクを入れ、チェンジャーに入れる。
Not ready	MDチェンジャーMDX-40のフロントパネルが開いている。	フロントパネルを閉じる。(MDX-40のみ)
Push reset	何らかの原因で動作しない。	本機のリセットボタンを押す。

* ディスクマガジン内でエラーを起こしたディスク番号が表示されます。

保証書とアフターサービス

保証書（別に添付）

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな？」の項目に従って、故障がどうかをお調べください。直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのサービス窓口（別紙）にご相談ください。

保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間

この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。

主な仕様

CDプレーヤー部

SN比	93dB
周波数特性	5 ~ 20,000Hz
ワウフラッター	測定限界以下
ひずみ率	0.008%以下

チューナー部

FM	
受信周波数	76 ~ 90MHz (テレビ1 ~ 3ch)
中間周波数	10.7MHz
実用感度	10dBf
周波数特性	30 ~ 15,000Hz
SN比 50dB感度 (IHF)	18dBf
実効選択度	75dB (400kHz)
SN比	62dB (ステレオ) 65dB (モノラル)
ひずみ率 (1kHz)	0.9% (ステレオ) 0.5% (モノラル)
ステレオセパレーション	35dB以上 (1kHz)
キャプチャレシオ	2dB
AM	
受信周波数	522 ~ 1,629kHz
中間周波数	10.71MHz/450kHz
実用感度	30 μ V

アンプ部

適合インピーダンス	4 ~ 8
最大出力	40W \times 4 (4 負荷1kHz)

電源部、その他

電源	DC12Vカーバッテリー (マイナスアース)
出力端子	FMコンボジット出力端子、 フロント/リヤ音声出力端子、 アンプコントロール、 アンテナコントロール
入力端子	バス音声入力端子、 バスコントロール入力端子 ナビ音声入力端子
本体寸法	約178 \times 50 \times 177mm (幅 / 高さ / 奥行き)
取付寸法	約178 \times 50 \times 164.5mm (幅 / 高さ / 奥行き)
質量	約1.8kg

付属品

ロータリーコマンダーRM-X2S
(1)
取り付け/接続部品 (一式)
取扱説明書 (一式)
ソニーご相談窓口のご案内 (1)
保証書 (1)

別売品

ワイヤレスリモートコマンダー
RM-X41
CDチェンジャー
CDX-805 (10枚)
CDX-705 (10枚)
CDX-T62 (6枚)
CDX-T65 (6枚)
CD/CD-ROMチェンジャー
CDX-R61 (6枚)
MDチェンジャー MDX-61
FM文字多重放送ディスプレイユ
ニット FMX-88
TVチューナーユニット
XT-40V
ソースセクター XA-C30など
デジタルプリアンプ
XDP-U50DMK2
グラフィックイコライザーミニ
ディスクプレーヤー
MDX-700EQ
ミニディスクプレーヤー
MDX-410
バスケーブル (RCAピンコード
付属)
RC-61 (1m)
RC-62 (2m)
RCAピンコード
RC-63 (1m)
RC-64 (2m)
RC-65 (5m)
バスシステム接続キット
RC-130
CDクリーニングキット
CDM-3K

本機の仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

あ行

イントロ 14
エラー表示 61
オートスクロール 13、30
音質
 サラウンド 40
 残響音 41
 反射音 41
 ラウドネス 26、27
音量 10、28

か行

ガイド(GUIDE) 26、27、
 54、55
高音(TRE) 28、47
故障かな? 59
カスタムファイル 33~38
カットオフ周波数 46

さ行

サブウーファー 46
サラウンド 40~42
 DSPカスタムファイル 42
 ラストサウンドメモリー 48
CD/MD 29
 ディスク名の一覧 52
 名前を探す 39
 名前をつける 33
 名前を表示する 34
CD-G 53
CD-TEXT 12、13、30、
 34、35
シャッフル(SHUF) 16、32
ステレオ放送 18
スピーカーバランス 28、45

SET UP

Amber 26、27
Angle 26、27
Beep 26、27
Clock 7
Contrast 26、27
Green 26、27
Loud 26、27
RM 26、27

た行

ターンオーバー周波数 47
DSP 40~48
DSPカスタムファイル 42
低音(BAS) 28、47
ディスクメモ 33
デジタルシグナル
 プロセッサ 40~48
テレビ 49~52

 チャンネルの一覧 51
 登録 49
 名前をつける 50

電源 11

登録

 自動登録 9、19
 テレビチャンネル 49
 ラジオ局 17、19

道路交通情報 19

時計 8

 トレブル(TRE) 28、47

な行

名前

 消去する 21、36
 つける 20、33、50
 表示する 21、34
ナビゲーション 54、55

は行

バス(BAS) 28、47
バランス(BAL) 28、45
バンク 37
ビデオ 51
ビデオCD 53
ヒューズ 56
表示窓

 CD/MD 12、30
 ラジオ 18
フェーダー(FAD) 28
ベストチューニング
 メモリー 9
ボタン音 26、27

ま、や行

モノラルモード 18
ミュート 26、27

ら、わ行

ラウドネス 26、27
ラジオ 17
 自動選局 18
 登録 9、19
 名前を探す 22
 名前をつける 20
 名前を表示する 18、21
 放送局の一覧 51
ラストサウンドメモリー 48
リスニングポジション 43
リセット 7
リピート(REP) 15、31
リモコン
 ロータリーコマンダー
 23~25
 ワイヤレスリモートコマン
 ダー(平形) 58

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客ご相談センターへ

東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111